

類似他都市等との比較による本市の位置づけ

本市の都市構造上の特徴（生活利便性、健康、安全等）を客観的かつ定量的に把握するため、都市構造に係る各種データについて、類似他都市等との偏差値による比較を行った。

評価は、「都市構造の評価に関するハンドブック（平成 26 年 8 月、国土交通省）」に基づき、6 つの評価分野によって実施した。

- | | | | |
|--------|------------|--------|-------|
| ①生活利便性 | ②健康・福祉 | ③安全・安心 | ④地域経済 |
| ⑤行政運営 | ⑥エネルギー/低炭素 | | |

1. 結果の総括

本市は、「用途地域人口密度」が他都市と比較して相対的に低く、昭和 45 年以降継続して人口が減少していることから、人口減少の進行が速いことがうかがえる。

また、「通勤通学時における公共交通分担率」が他都市と比較して相対的に低く、「生活サービス施設や駅およびバス停の徒歩圏人口カバー率」は高いことから、自動車依存の交通体系に支えられた広範囲な生活サービスの提供を行っていることがうかがえる。

以上のことから、分散していることの「非効率さ」や更なる人口減少により、生活サービス施設の廃業や撤退等が進み、サービスの低下が進行していくことが懸念される。また、高齢化の進行にともない、自動車を運転しなくなった・できなくなった後の移動が困難になることが懸念される。

さらに、秋田県北 4 市の比較では、人口規模が約 1.5 万人上回る大館市に対し、多くの指標で同等もしくはそれ以上の水準となっているが、「用途地域人口密度」「用途地域の従業人口密度」「用途地域の小売商業床効率」は大館市水準との差が開いており、市街地部の拠点性が相対的に低く、さらに人口減少が進むことで、廃業や撤退等が早期に発現することが懸念される。

2. 結果の詳細

2-1. 使用するデータ

比較分析は、国土交通省が公表している「都市モニタリングシート（平成 29 年度）」を使用した。

比較データの一覧および算出方法は 7 頁のとおりである。

分析は、各データの中から、本市の現況値が明らかになっている以下の項目について実施した。

表 2-1. 分析項目一覧

評価分野	評価指標			
生活利便性	①	用途地域人口密度	人/ha	
	②	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療施設	%
			福祉施設	%
			商業施設	%
	③	駅およびバス停の徒歩圏人口カバー率	人/ha	
④	通勤通学時における公共交通分担率	%		
健康・福祉	⑤	自動車走行距離の少なさ（市民1人当たりの自動車総走行台キロ）	台キロ/人	
	⑥	高齢者徒歩圏における医療施設がある住宅の割合	%	
	⑦	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	
	⑧	歩道整備率	%	
安全・安心	⑨	都市公園の徒歩圏人口カバー率	%	
	⑩	市民1万人当たりの交通事故死者数の少なさ	人	
	⑪	最寄り緊急避難場所までの近さ（平均距離）	m	
地域経済	⑫	空家の少なさ（空家率）	%	
	⑬	従業者1人当たり第3次産業売上高	百万円/人	
	⑭	用途地域の従業人口密度	人/ha	
行政運営	⑮	用途地域の小売商業床効率	万円/m ²	
	⑯	市民1人当たりの公共施設等の維持・管理・更新費の少なさ	千円/人	
	⑰	財政力指数		
	⑱	用途地域外での開発の少なさ（用途地域内外の開発許可面積比（外/内））	%	
エネルギー/低炭素	⑲	市民1人あたりの税収額	千円	
	⑳	市民1人あたりの自動車CO2排出量の少なさ	t-CO2/年	

2-2. 比較対象都市

比較対象都市は、以下の2つの視点で抽出を行った。

【視点1：行政区域人口が同規模の都市】

条件①. 行政区域人口：5～6万人

条件②. 三大都市圏以外の市区町村

条件③. 合併市区町村（平成の大合併）

条件④. 区域区分をしていない都市計画区域を有する市区町村

表 2-2. 行政区域人口が同規模の都市

比較対象都市			比較対象都市			比較対象都市		
平成27年 国勢調査人口 (人)			平成27年 国勢調査人口 (人)			平成27年 国勢調査人口 (人)		
1 青森県	五所川原市	55,181	13 新潟県	南魚沼市	58,568	24 香川県	さぬき市	50,272
2 青森県	むつ市	58,493	14 富山県	南砺市	51,327	25 福岡県	朝倉市	52,444
3 岩手県	宮古市	56,676	15 石川県	七尾市	55,325	26 熊本県	山鹿市	52,264
4 福島県	二本松市	58,162	16 岐阜県	恵那市	51,073	27 熊本県	宇城市	59,756
5 福島県	南相馬市	57,797	17 三重県	亀山市	50,254	28 大分県	宇佐市	56,258
6 茨城県	小美玉市	50,911	18 三重県	志摩市	50,341	29 宮崎県	日南市	54,090
7 群馬県	安中市	58,531	19 滋賀県	高島市	50,025	30 鹿児島県	出水市	53,758
8 群馬県	みどり市	50,906	20 京都府	京丹後市	55,054	31 沖縄県	宮古島市	51,186
9 千葉県	山武市	52,222	21 和歌山県	海南市	51,860			
10 新潟県	十日町市	54,917	22 島根県	浜田市	58,105			
11 新潟県	五泉市	51,404	23 広島県	三次市	53,615			
12 新潟県	佐渡市	57,255	24 香川県	観音寺市	59,409			

【視点2：秋田県内の市部】

条件①. 秋田県内の市部（ただし、規制強度の異なる秋田都市計画区域に含まれる秋田市および潟上市を除く）

※参考として、県北に位置する3市（大館市、鹿角市、北秋田市）の数値も明示した。

表2-3. 秋田県内の市部（秋田市及び潟上市を除く）

比較対象都市	平成27年 国勢調査人口 (人)
1 横手市	92,197
2 大館市	74,175
3 男鹿市	28,375
4 湯沢市	46,613
5 鹿角市	32,038
6 由利本荘市	79,927
7 大仙市	82,783
8 北秋田市	33,224
9 にかほ市	25,324
10 仙北市	27,523

2-3. 分析結果

（1）行政区域人口が同規模の都市との比較

本市は、「用途地域人口密度」が同規模他都市の水準（偏差値50）を下回っており、昭和45年以降継続して人口が減少していることから、市街地部の人口減少が進行していることがうかがえる。一方で、福祉施設を除き、「生活サービス施設や駅およびバス停の徒歩圏人口カバー率」が、同規模他都市の水準（偏差値50）を上回っており、一定の生活サービスが提供されている。

「通勤通学時における公共交通分担率」が同規模他都市の水準を下回っており、比較的駅やバス停が居住地の近くにあるものの、利用されておらず、自動車依存の交通体系になっていることがうかがえる。

「空家の少なさ（空家率）」が同規模他都市の水準を下回っており、本市は昭和45年以降継続して人口が減少していることから、他都市と比較して人口減少の進行が速いことがうかがえる。

「用途地域の従業人口密度」が同規模他都市の水準を下回っており、「用途地域人口密度」と同様に、市街地部の人口減少が影響しているものと考えられる。

以上のことから、人口密度が相対的に低い（集約されていない）中であって、広範囲に生活サービスを展開しており、「自動車依存の交通体系」を背景としたサービス提供に係る「非効率さ」がうかがえる。また、更なる人口減少により、生活サービス施設の廃業や撤退等が進み、サービスの低下が進行していくことが懸念される。また、高齢化の進行にともない、自動車を運転しなくなった・できなくなった後の移動が困難になることが懸念される。

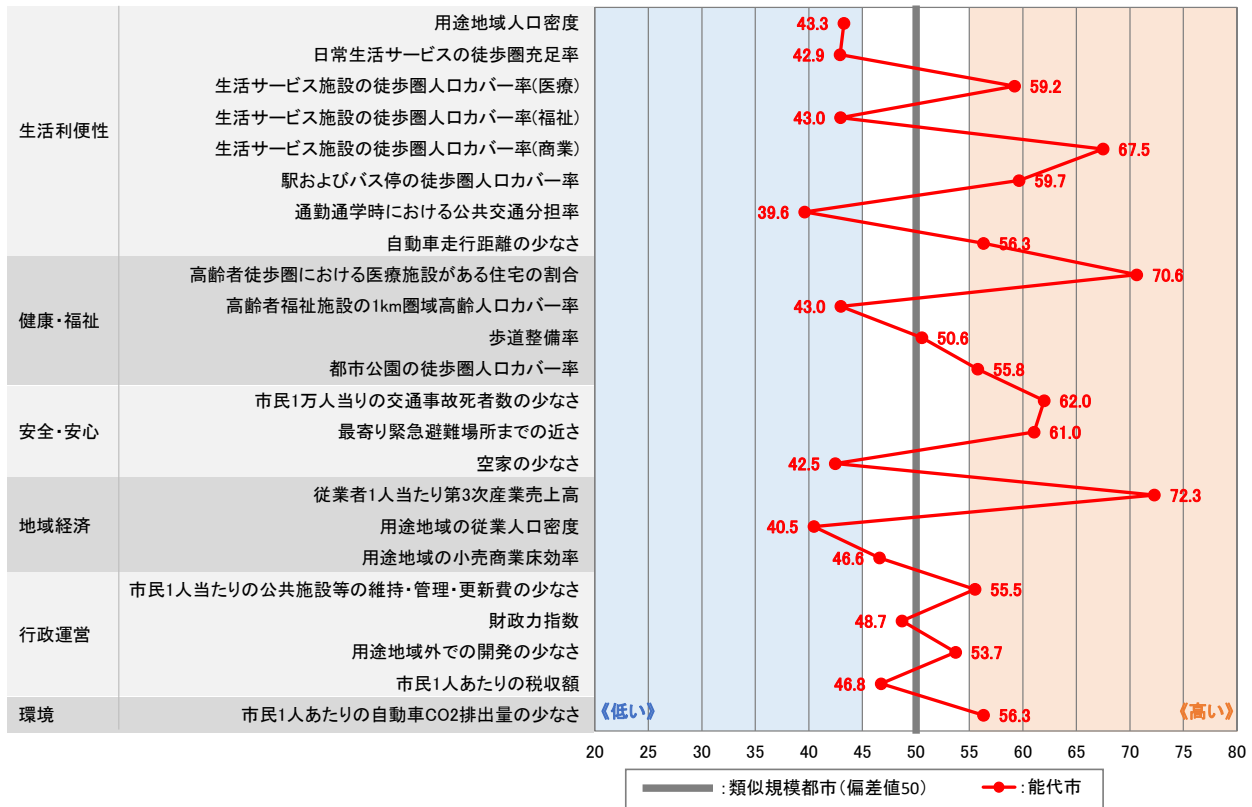


図 2-1. 行政区域人口が同規模の都市との比較結果

※偏差値が高ければ良い状態、低ければ悪い状態を表している

表 2-4. 行政区域人口が同規模の都市との比較結果

		実数	偏差値				
			能代市	人口同規模都市平均			
生活利便性	① 用途地域人口密度	人/ha	15.2	19.7	43.3	50.0	
	② 日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	7.5	13.8	42.9	50.0	
	③ 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療施設	%	67.6	58.8	59.2	50.0
		福祉施設	%	28.4	42.7	43.0	50.0
		商業施設	%	54.4	40.1	67.5	50.0
	④ 駅およびバス停の徒歩圏人口カバー率	人/ha	9.2	6.7	59.7	50.0	
⑤ 通勤通学時における公共交通分担率	%	3.3	7.0	39.6	50.0		
健康・福祉	⑥ 自動車走行距離の少なさ (市民1人当たりの自動車総走行台キロ)	台キロ/人	15.0	18.0	56.3	50.0	
	⑦ 高齢者徒歩圏における医療施設がある住宅の割合	%	51.6	72.4	70.6	50.0	
	⑧ 高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	34.1	48.0	43.0	50.0	
	⑨ 歩道整備率	%	43.7	42.9	50.6	50.0	
安全・安心	⑩ 都市公園の徒歩圏人口カバー率	%	42.0	33.3	55.8	50.0	
	⑪ 市民1万人当たりの交通事故死者数の少なさ	人	0.2	0.6	62.0	50.0	
	⑫ 最寄り緊急避難場所までの近さ (平均距離)	m	566.9	877.6	61.0	50.0	
地域経済	⑬ 空家の少なさ (空家率)	%	11.9	9.7	42.5	50.0	
	⑭ 従業者1人当たり第3次産業売上高	百万円/人	19.2	12.3	72.3	50.0	
	⑮ 用途地域の従業人口密度	人/ha	7.7	11.3	40.5	50.0	
行政運営	⑯ 用途地域の小売商業床効率	万円/m ²	59.9	64.6	46.6	50.0	
	⑰ 市民1人当たりの公共施設等の維持・管理・更新費の少なさ	千円/人	463.1	597.4	55.5	50.0	
	⑱ 財政力指数		0.44	0.46	48.7	50.0	
	⑲ 用途地域外での開発の少なさ (用途地域内外の開発許可面積比 (外/内))	%	0.0	269.3	53.7	50.0	
環境	⑳ 市民1人あたりの税収額	千円	86.2	92.8	46.8	50.0	
	㉑ 市民1人あたりの自動車CO2排出量の少なさ	t-CO2/年	1.3	1.5	56.3	50.0	

※偏差値が高ければ良い状態、低ければ悪い状態を表している

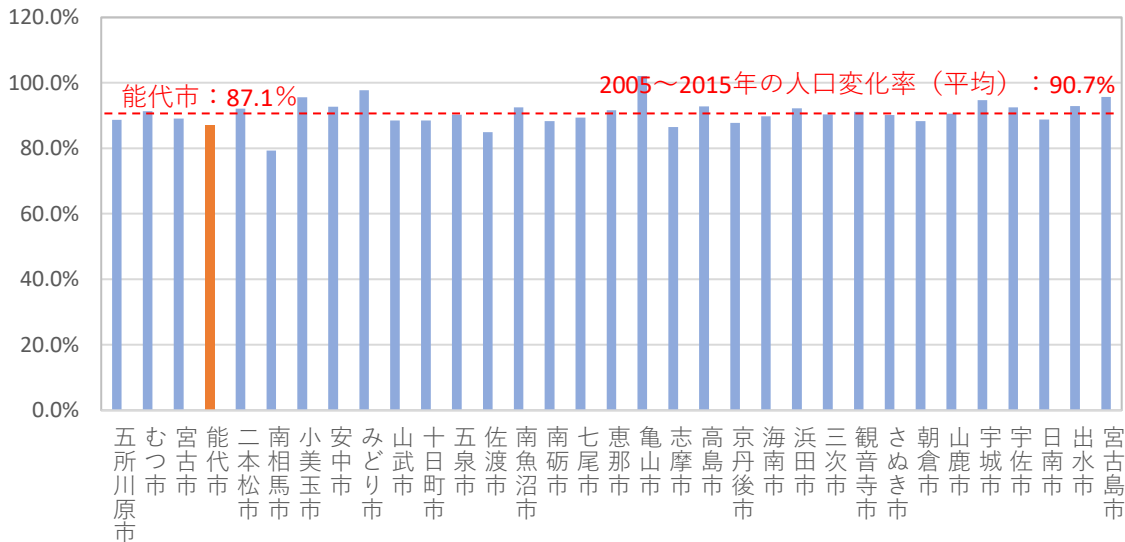


図 2 - 2. (参考) 2005～2015 年の人口変化率

(2) 秋田県内の市部との比較 (秋田市及び潟上市を除く)

秋田県内市部との比較では、同規模他都市との比較結果とは異なり、福祉施設の徒歩圏人口カバー率についても秋田県内市部の水準 (偏差値 50) を上回っている。

その他の結果については、同規模他都市との比較結果と同様の傾向であった。

県北 4 市での比較では、人口規模が約 1.5 万人上回る大館市に対し、多くの指標で同等もしくはそれ以上の水準となっているが、「用途地域人口密度」「用途地域の従業人口密度」「用途地域の小売商業床効率」は大館市水準との差が開いており、市街地部の拠点性が相対的に低く、さらに人口減少が進むことで、廃業や撤退等が早期に発現することが懸念される。

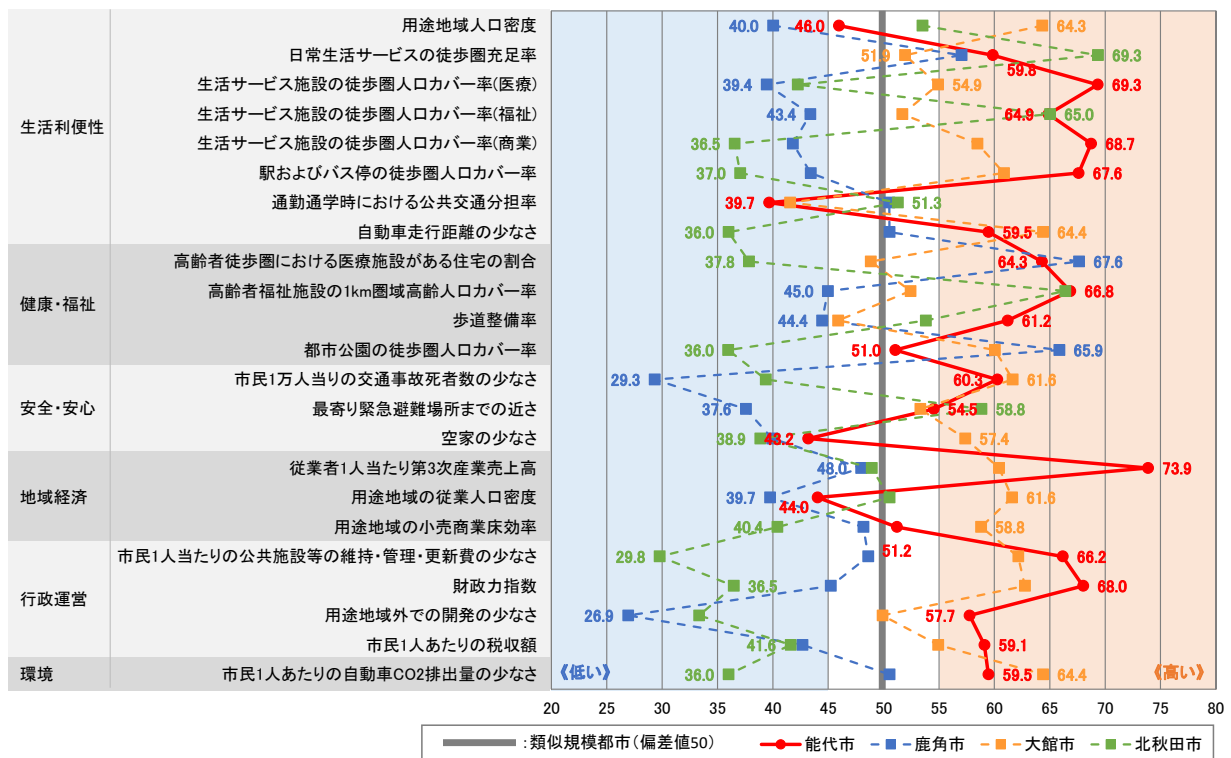


図 2 - 3. 秋田県内の市部との比較との比較結果 (秋田市及び潟上市を除く)

※偏差値が高ければ良い状態、低ければ悪い状態を表している

表 2-5. 秋田県内の市部との比較との比較結果（秋田市及び潟上市を除く）

			実数						
			能代市	鹿角市	大館市	北秋田市	秋田県内市平均		
生活利便性	①	用途地域人口密度	人/ha	15.2	12.6	23.3	18.5	17.0	
	②	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	7.5	6.8	5.7	9.7	5.2	
	③	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療施設	%	67.6	42.6	55.5	44.9	51.4
			福祉施設	%	28.4	12.6	18.7	28.5	17.5
			商業施設	%	54.4	29.0	44.7	24.0	36.7
	④	駅およびバス停の徒歩圏人口カバー率	人/ha	9.2	4.4	7.9	3.1	5.7	
⑤	通勤通学時における公共交通分担率	%	3.3	5.3	3.6	5.4	5.2		
⑥	自動車走行距離の少なさ（市民1人当たりの自動車総走行台キロ）	台キロ/人	15.0	17.5	13.5	21.8	17.7		
健康・福祉	⑦	高齢者徒歩圏における医療施設がある住宅の割合	%	51.6	47.9	68.5	80.4	67.2	
	⑧	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	34.1	17.9	23.4	33.8	21.7	
	⑨	歩道整備率	%	43.7	32.7	33.6	38.9	36.3	
	⑩	都市公園の徒歩圏人口カバー率	%	42.0	57.9	51.6	25.8	40.8	
安全・安心	⑪	市民1万人当たりの交通事故死者数の少なさ	人	0.2	1.2	0.1	0.9	0.5	
	⑫	最寄り緊急避難場所までの近さ（平均距離）	m	566.9	1,076.0	603.2	437.4	702.4	
	⑬	空家の少なさ（空家率）	%	11.9	13.0	7.5	13.3	9.8	
地域経済	⑭	従業者1人当たり第3次産業売上高	百万円/人	19.2	11.8	15.4	12.1	12.4	
	⑮	用途地域の従業人口密度	人/ha	7.7	6.5	12.7	9.5	9.4	
	⑯	用途地域の小売商業床効率	万円/m ²	59.9	57.6	65.7	51.6	59.0	
行政運営	⑰	市民1人当たりの公共施設等の維持・管理・更新費の少なさ	千円/人	463.1	604.2	495.3	755.6	593.0	
	⑱	財政力指数		0.44	0.31	0.41	0.26	0.34	
	⑲	用途地域外での開発の少なさ（用途地域内外の開発許可面積比（外/内））	%	0.0	796.0	202.8	630.6	200.1	
	⑳	市民1人あたりの税収額	千円	86.2	72.4	82.7	71.5	78.6	
環境	㉑	市民1人あたりの自動車CO2排出量の少なさ	t-CO2/年	1.3	1.5	1.1	1.8	1.5	

			偏差値						
			能代市	鹿角市	大館市	北秋田市	秋田県内市平均		
生活利便性	①	用途地域人口密度	人/ha	46.0	40.0	64.3	53.5	50.0	
	②	日常生活サービスの徒歩圏充足率	%	59.8	57.0	51.9	69.3	50.0	
	③	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療施設	%	69.3	39.4	54.9	42.3	50.0
			福祉施設	%	64.9	43.4	51.7	65.0	50.0
			商業施設	%	68.7	41.8	58.5	36.5	50.0
	④	駅およびバス停の徒歩圏人口カバー率	人/ha	67.6	43.4	60.9	37.0	50.0	
⑤	通勤通学時における公共交通分担率	%	39.7	50.5	41.6	51.3	50.0		
⑥	自動車走行距離の少なさ（市民1人当たりの自動車総走行台キロ）	台キロ/人	59.5	50.5	64.4	36.0	50.0		
健康・福祉	⑦	高齢者徒歩圏における医療施設がある住宅の割合	%	64.3	67.6	48.8	37.8	50.0	
	⑧	高齢者福祉施設の1km圏域高齢人口カバー率	%	66.8	45.0	52.4	66.4	50.0	
	⑨	歩道整備率	%	61.2	44.4	45.9	53.8	50.0	
	⑩	都市公園の徒歩圏人口カバー率	%	51.0	65.9	60.0	36.0	50.0	
安全・安心	⑪	市民1万人当たりの交通事故死者数の少なさ	人	60.3	29.3	61.6	39.4	50.0	
	⑫	最寄り緊急避難場所までの近さ（平均距離）	m	54.5	37.6	53.3	58.8	50.0	
	⑬	空家の少なさ（空家率）	%	43.2	39.9	57.4	38.9	50.0	
地域経済	⑭	従業者1人当たり第3次産業売上高	百万円/人	73.9	48.0	60.4	48.9	50.0	
	⑮	用途地域の従業人口密度	人/ha	44.0	39.7	61.6	50.5	50.0	
	⑯	用途地域の小売商業床効率	万円/m ²	51.2	48.2	58.8	40.4	50.0	
行政運営	⑰	市民1人当たりの公共施設等の維持・管理・更新費の少なさ	千円/人	66.2	48.6	62.2	29.8	50.0	
	⑱	財政力指数		68.0	45.2	62.7	36.5	50.0	
	⑲	用途地域外での開発の少なさ（用途地域内外の開発許可面積比（外/内））	%	57.7	26.9	49.9	33.3	50.0	
	⑳	市民1人あたりの税収額	千円	59.1	42.7	54.9	41.6	50.0	
環境	㉑	市民1人あたりの自動車CO2排出量の少なさ	t-CO2/年	59.5	50.5	64.4	36.0	50.0	

※偏差値が高ければ良い状態、低ければ悪い状態を表している